

名取市文化芸術振興ビジョン第2次 概要版

令和2(2020)年3月 名取市教育委員会

第1章 第2次ビジョンの策定にあたって

1. 策定の趣旨 名取市文化振興ビジョン(第1次)の取組状況や社会情勢の変化を踏まえ、今後の文化芸術の指針を策定。
2. 位置づけ 名取市第六次長期総合計画「文化芸術活動の推進」を具体的に展開する指針
3. ビジョンの期間 **令和2(2020)年度～令和12(2030)年度までの11年間**
4. 文化芸術振興の意義 ○文化芸術は、人々の創造性をはぐくみ、その表現力を高めるとともに、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができるとともに、世界の平和に寄与するものである。
○文化芸術自体が固有の意義と価値を有し、心豊かな活力ある社会の形成にとって極めて重要な意義を持ち続けるもの。
5. 対象とする文化芸術の範囲 芸術、メディア芸術、伝統芸能、芸能、生活文化、国民娯楽、出版物等、文化財等、地域における文化芸術とする。

第2章 文化芸術に関する取り組みと課題

1. これまでの取り組み等

(1) 第1次ビジョンでの取り組み:平成9年に第1次ビジョンを策定。文化会館が開館し鑑賞の機会や発表、創造の場が増え、市民の文化芸術活動の裾野が広がってきた。

■第1次ビジョンの施策体系

- ①文化振興の基盤整備
- ②文化芸術の振興
- ③地域・生活文化の振興
- ④文化施設の整備
- ⑤国際文化交流
- ⑥ゆとりある市民生活の形成

過去と未来の
出会う街
第1次基本方針

(2) 東日本大震災以降の取り組みの変化

復興支援事業として、国内外から沢山の音楽家や芸術家が被災地に訪れており、市民の心の復興の一助となっている。

(3) 環境の変化 人口構造、環境、公共を担う主体の多様化

(4) 国の動向

- 平成29年6月「文化芸術基本法」改正
- 平成30年3月「文化芸術推進基本計画」を策定

(5) 県の動向

- 平成16年「宮城県文化芸術振興条例」を策定
- 平成28年3月「宮城県文化芸術振興ビジョン(第2期)」を策定
～東日本大震災で傷ついた県民の心の復興が最優先課題～

2. 文化芸術に関する課題

- 課題1 心のケアとコミュニティの強化(→施策1・3)
- 課題2 全ての市民のための文化芸術(→施策2・3)
- 課題3 文化芸術の担い手の育成(→施策1・3)
- 課題4 郷土愛の醸成と文化の継承(→施策1・2・3)

第3章 基本方針

1. 基本目標

文化芸術の高まりをとおして

誇りとふるさと愛を育む都市^{まち}

文化芸術は人の心を豊かにし、夢と希望と感動を与えてきました。本物の文化芸術に触れ、裾野が広がる取り組みを展開し、文化芸術活動のより一層の高まりをとおして、今後も誇りとふるさとを愛する豊かな心を育んで行けるよう推進します。

2. 基本施策

施策1 文化芸術に親しむ人づくり…課題1・3・4

社会環境の変化により、文化芸術団体の会員や伝統芸能の担い手が減少していることから、少年期から文化芸術をとおして郷土愛を育み、将来には担い手となって後世に継承できるような施策を推進する必要がある。

施策2 文化芸術を育む環境づくり…課題2・4

文化芸術活動に現在取り組んでいる人だけでなく、全ての市民が身近に文化芸術に触れられるような施策を推進する必要がある。

施策3 文化芸術を生かしたまちづくり…課題1・2・3・4

文化芸術により生み出される多様な価値を活用し、心豊かで多様性のある社会の実現と、まちの活性化を推進する必要がある。

第4章 施策の実現に向けた推進項目

施策	推進項目
1 文化芸術に親しむ人づくり	(1) 文化芸術の情報発信力の強化 (2) 文化芸術の創造・発展・継承 (3) 文化芸術活動団体等への活動支援 (4) 子どもたちが参画する文化芸術活動の育成 (5) 学校教育における文化芸術活動の充実 (6) 文化芸術のもつ力による心のケアとコミュニティの強化
2 文化芸術を育む環境づくり	(1) 文化芸術を身近に親しめる場の充実 (2) 文化芸術による国内外の交流 (3) 文化施設等の充実及び活用 (4) 市民との協働による文化芸術活動の創出
3 文化芸術を生かしたまちづくり	(1) プラットフォームの形成* (2) ふるさと愛を育む文化芸術

*プラットフォーム:関係機関等の対等な立場でのゆるやかな連携・協働を可能にする枠組み

第5章 文化芸術行政の推進体制の充実

1. 市の推進体制

総合的・効果的な文化行政の推進を図るため、庁内関係機関の体制・連携を強化し施策を推進する。

2. 関係機関との連携・協働

国、独立行政法人、地方公共団体、文化芸術団体、民間事業者、高等専門学校・大学等との連携・協働

3. 各主体に期待される役割

文化芸術に携わる各主体(市民・文化芸術団体・NPO 法人・中間支援組織等・企業・教育機関・文化施設等・市)が、本市が目指す文化芸術振興の姿を共有しながら、それぞれの立場で役割を担い、施策を展開していくことを期待